

第54期 中間報告書

2022年4月1日～2022年9月30日

MOBILE SPACE by 三協フロンテア



株主の皆様へ

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度は会計上の問題につきまして、株主、投資家の皆様をはじめ関係者の皆様には、多大なご迷惑とご心配をお掛けいたしましたことを、改めて深くお詫び申し上げます。

今回の件を真摯に受け止め、再発防止策を着実に実行し、全社一丸となり信頼の回復に努めてまいります。

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、総じて新型コロナウイルス感染症の影響による落ち込みから回復する動きが続いたものの、ウクライナ情勢の長期化等によるインフレ進行やサプライチェーンの混乱、各国中央銀行の金融引き締めに伴う景気後退懸念に加え、記録的な円安や建設資材の価格高騰、さらには新型コロナウイルス感染症の再拡大も危惧されるなど、先行きが見通せない状況が続いております。

当社グループにおいては、ホームページへのお問い合わせや展示場へのご来場者数は前年を上回って安定しており、全体としては計画に沿って堅調に推移しております。一方で、前期にオリンピック関連施設や、ワクチン接種会場などの新型コロナウイルス関連の大型物件が計上された影響や、資材価格の高騰により製品原価が上昇していることから、前期と比較して売上高、経常利益ともに低い状況となっております。

店舗については、既存店舗のリニューアルを積極的に進めるとともに、モバイルスペースをもっと身近に体感・体験いただける展示場の新ブランド「MOPAQ(モパック)」を立ち上げました。公園のように敷地内を自由に散策でき、展示品をレンタルスペースとしてご利用頂くことが可能です。これにより来場されるお客様の層が変化し、ご利用の用途が大きく広がってきております。

MSキャンパスには、昨年度に開設した3階建て仕様のMS LAB(エムエス・ラボ)を始めとして、様々なモバイルスペースを設置しております。私たち自身がそこで働き、学び、体感し、得たものを製品開発へ反映させることで、より良い製品を提供していきたいと考えております。

これからも、2018年より掲げている10年ビジョン「地球上でもっとも進化したモバイルスペースメーカーになり、お客様の夢をモバイルすることにより社会のハピネスに貢献する」に沿い、社会から必要とされ、そしてハピネスあふれる社会の実現に向け貢献できる会社を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、重ねてご心配とご迷惑をおかけしたことをお詫び申し上げますとともに、今後ともより一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

2022年12月 代表取締役社長 **長喜貴嗣**

基本理念

目的(存在理由)

社会への貢献

わたしたちは
社会に役立ち、人々の心や暮らしを豊かにし、
よって社会に貢献することを目的とします。

基本的価値観(不変の主義)

開拓の精神

わたしたちは、失敗を恐れず、情熱を持って、未開の地(新しい分野)に挑戦することを誇りとします。

不断の努力

わたしたちは、弛みない努力によって、困難に打ち勝ち、目的の実現に至ることを喜びとします。

誠実な意志

わたしたちは、わたしたちを支える人々^{*}に対し、揺らぐことのない誠実な意志によって行動します。

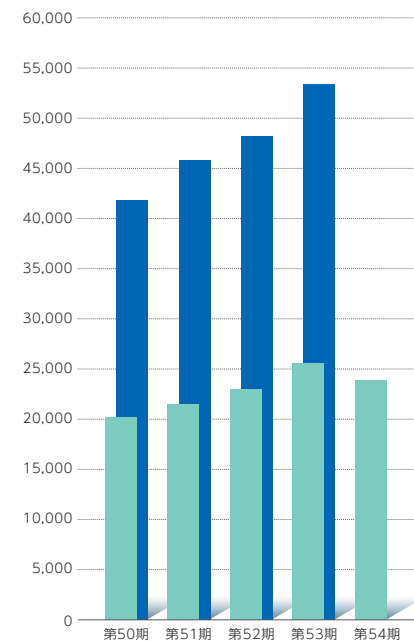
^{*}「わたしたちを支える人々」とはステークホルダー(お客様、サプライヤー、株主・投資家、従業員とその家族など)を指します。

業績ハイライト(連結)

区分	期別	第50期 (2019年3月期)	第51期 (2020年3月期)	第52期 (2021年3月期)	第53期第2四半期 (2022年3月期)	第53期 (2022年3月期)	第54期第2四半期 (2023年3月期)
売上高(百万円)		41,856	45,754	48,183	25,585	53,346	23,842
経常利益(百万円)		6,090	7,303	7,946	5,521	10,101	2,828
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益(百万円)		3,838	4,659	5,121	3,318	6,382	1,661
1株当たり四半期(当期)純利益(円)		345.39	419.24	460.88	298.66	574.35	149.54
総資産(百万円)		60,302	63,397	64,329	66,389	69,617	66,033
純資産(百万円)		32,334	35,768	39,575	41,550	43,756	44,610

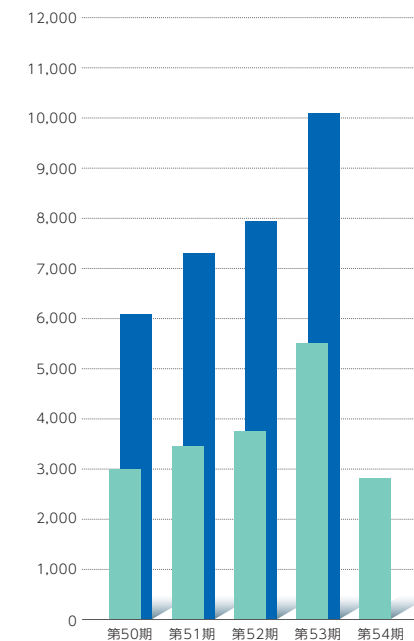
売上高の推移

(単位:百万円)



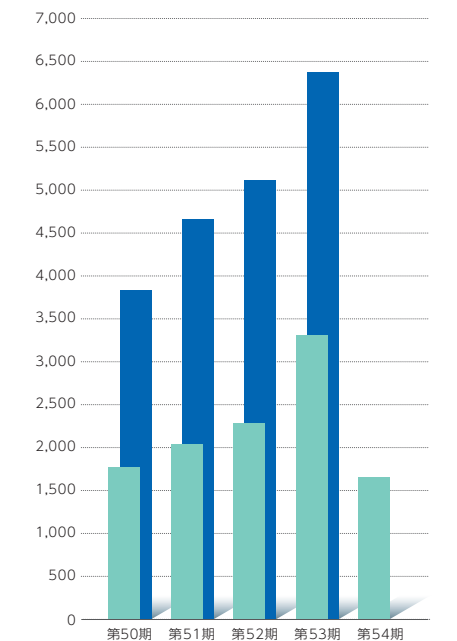
経常利益の推移

(単位:百万円)



親会社株主に帰属する 当期純利益の推移

(単位:百万円)



免責条項 本報告書で記述されている通期の業績見通しなど将来についての事項は、予期しない経済状況の変化などさまざまな要因の影響を受けるため、その結果については当社が保証するものではありません。

当上半期の業績について

当第2四半期連結累計期間の連結売上高は23,842百万円と、前年同期比で6.8%の減少となりました。利益額につきましても、営業利益は2,677百万円(前年同期比49.5%減)、経常利益は2,828百万円(前年同期比48.8%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は1,661百万円(前年同期比49.9%減)とそれぞれ減少となっております。前年同期に東京オリンピックに伴うイベント施設及び新型コロナウイルス感染症対策のための医療関連施設等の大型物件の計上があったため、前期と比較して売上高、利益額ともに低くなっておりませんが、通期の業績見通しにつきましては概ね予想通りに進捗しております。

モバイルスペースのレンタルについては、前期の大型物件計上の影響により、売上高は前年同期比7.3%減となっております。一方で、出荷棟数、稼働棟数については、大型物件の影響を除けば前年同期と同程度であり、堅調に推移しております。

モバイルスペースの販売及び工事売上については、引き続き店舗網の整備に注力しており、新規店舗の開設に加えて既存店舗のリニューアルを進め、体制の強化を図っております。現在全国展開を開始している展示場の新ブランド「MOPAQ(モパック)」により、来場者数の増加だけでなく顧客層も拡がりを見せており、新たな需要の開拓につながっております。また、ホームページの問い合わせ数も前年を上回って推移しております。売上高は、レンタルと同様に前期の大型物件計上の影響により、前年同期比9.1%減となっているものの、こちらも概ね予想通りに進捗しております。

不動産賃貸事業についても着実に事業を拡大しております。レンタルスペースについては順調に店舗数が増加し、当第2四半期連結累計期間末においては37店舗となっております。トランクルームについてもルーム稼働率は一定水



飲食店外観



飲食店内観



会社事務所外観



会社事務所内観

準を維持しており、売上高は前年同期に比べ4.9%増となっております。

設備投資については、レンタル資産や展示場等の店舗設備を中心に継続的に実施しており、投資額は6,112百万円となっております。その影響により、建物及び構築物は前期末に比べ1,407百万円増加しておりますが、総資産額は前連結会計年度末に比べ3,584百万円減少し、66,033百万円となりました。変動の大きかった主なものは、現金及び預金の減少2,492百万円、営業未収入金の減少1,812百万円、建設仮勘定の減少1,069百万円などです。

負債の合計額は、前連結会計年度末に比べ4,437百万円減少し、21,423百万円となっております。変動の大きかった主なものは、仕入債務の減少1,361百万円、その他の流動負債の減少980百万円、短期及び長期借入金の純減957百万円、未払法人税等の減少955百万円などです。

純資産額は前連結会計年度末に比べ853百万円増加して44,610百万円となっており、自己資本比率は67.6%と安定した状態を保っております。



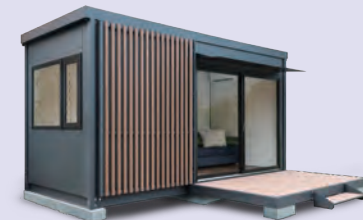
保育施設外観



業局内観

MSLエクストラスペース新発売

10月よりMSL単体専用シリーズの新パッケージ製品「MSL エクストラスペース」の販売を開始しました。「もう一つの特別な部屋」をコンセプトに、断熱性能を強化し、オプションを追加することにより、居住性・デザイン性を高めています。コロナ禍を通じて生まれた新しいライフスタイルに合わせ、はなれや趣味の部屋、書斎やテレワークスペースなど、個人、法人を問わず様々な用途でご利用いただける、特別な空間をご提供します。



外観



内観

Topic 1 展示場の新ブランド「MOPAQ」を開始

モバイルスペースをもっと身近に体感・体験いただけるように、全国にある展示場のリニューアルを進めております。自然と触れ合い、人々の心や暮らしを豊かにできる「公園」のような展示場として、だれもが気軽に立ち寄り、滞在できる場所を目指して「MOBILE SPACE」に「PARK(公園)」を組み合わせた新しい展示場ブランド「MOPAQ(モパック)」が誕生しました。

「MOPAQ」の「Q」は、「問い=Question」を表しています。働き方や暮らし方の選択肢が増えた今、自分らしく豊かに生きるために、自分と向き合い、他人と交わる場を社会に提供したいという想いと、三協フロンテアがよりよい製品やサービスを創り出すために問いつづけたという想いを込めています。

「MOPAQ」へのリニューアルに伴い、親しみやすいしつらえになり、年代や性別問わず来場者数が増加するとともに、ご利用用途が大きく広がりました。従来は建設業や製造業を中心に事務所や倉庫として購入される傾向がありましたが、リニューアル後はサービス業、小売業、飲食業など様々な業種の方に、多様な用途でお求めいただくことが増えています。また展示品をレンタルスペースとしてお貸し出ししておりますが、こちらもカルチャー教室、YouTubeの撮影など様々にご利用頂いております。

今後もお客様のニーズを取り入れながら顧客層の拡大を目指すとともに、将来的には「MOPAQ」を活用して地域に根差したイベントを開催し、地域社会の賑わい創出にも取り組んでまいります。



ロゴに込めた想い

様々な問い=Qをつづけることで、未来への可能性が広がっていく様子を表現したシンボルマーク。親しみやすさと、すくすくと育っていくイメージを感じさせる、若葉のような明るいグリーンを採用しています。



MOPAQ 場内風景



岐阜総合展示場：クラシックダンス教室で利用



千葉総合展示場：スポーツ観戦で利用

Topic 2 MS LABの運用開始

昨年度、自社施設MS CAMPAS(エムエス・キャンパス)内にMS LAB(エムエス・ラボ)が完成し、本社機能のサテライトオフィスとして運用がスタートしました。MS LABにはSECIモデルと呼ばれる「組織学習理論」をテーマとした、学びや成長に繋がる行動や状況を誘発させる環境を作り出す、様々な機能を持った空間が備えられています。

執務エリアは、自由にレイアウト変更できる稼働デスクの採用やデスク間にミニテーブルやスツールを置くとともに、ホワイトボードも多く配置するなど、共同化を促す仕掛けを設けています。

他にも、可動式のオリジナルモジュール家具により様々なスタイルの会議が実施できる「タウンホール」、壁だけではなく天井・床を含めてホワイトボードで構成し、自由な発想のディスカッションを促す「ホワイトルーム」、実際にレゴブロックを使って手を動かしながら考える「トイレーム」、オンライン会議に対応した「パーソナルブース」、さらにはマインドフルネスをテーマにした「瞑想室」など、コミュニケーションと内省を繰り返すことができる、多様な空間でつくられています。社員自らが考え体感することで、多くの学びを得ながら働いています。

MS LABでは、ハード面における「工業化」もテーマとしており、ラウンジエリアや各ミーティングスペースで使用する家具もモバイルスペースのモジュールに合わせて設計するなど、当社独自の工夫を加えています。また、例えば間仕切りの防音性が低いという課題があれば、防音試験を実物で行い、改良した仕様に変更して入れ替えると同時に、そこで得た知見を実際の製品改良に結びつけることができる、最適な空間となっております。

自分たちの製品の中で働き、感じたことをフィードバックして製品開発へ反映させる、このクイックな活動を通し、より良い製品を提供していきたいと考えております。



MS CAMPAS 外観



執務エリア



瞑想室

トイレーム

ホワイトルーム



タウンホール

連結財務諸表

四半期連結貸借対照表 (要旨)

(単位:百万円)

	第54期第2四半期 (2022年9月30日)	第53期末 (2022年3月31日)
資産の部		
流動資産	17,020	21,302
現金及び預金	4,386	6,879
受取手形	431	483
電子記録債権	938	1,302
営業未収入金	4,512	6,325
売掛金	1,543	2,041
契約資産	307	103
棚卸資産	4,349	3,689
その他	632	555
貸倒引当金	△80	△77
固定資産	49,013	48,315
有形固定資産	45,452	44,826
レンタル資産	24,165	24,031
建物及び構築物	8,915	7,507
土地	10,007	10,007
その他	2,363	3,278
無形固定資産	551	473
投資その他の資産	3,008	3,015
資産合計	66,033	69,617

(単位:百万円)

	第54期第2四半期 (2022年9月30日)	第53期末 (2022年3月31日)
負債の部		
流動負債	17,544	19,883
支払手形	420	536
電子記録債務	6,475	6,958
買掛金	1,496	1,450
短期借入金	3,002	1,914
未払費用	2,038	3,034
未払法人税等	1,148	2,103
賞与引当金	609	594
その他	2,354	3,290
固定負債	3,878	5,978
長期借入金	1,694	3,739
役員退職慰労引当金	77	97
退職給付に係る負債	1,302	1,291
その他	804	849
負債合計	21,423	25,861
純資産の部		
株主資本	44,430	43,657
資本金	1,545	1,545
資本剰余金	2,776	2,776
利益剰余金	40,424	39,651
自己株式	△315	△315
その他の包括利益累計額	179	98
その他有価証券評価差額金	5	5
為替換算調整勘定	183	104
退職給付に係る調整累計額	△8	△10
純資産合計	44,610	43,756
負債・純資産合計	66,033	69,617

四半期連結損益計算書 (要旨)

(単位:百万円)

	第54期第2四半期 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)	第53期第2四半期 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)
売上高	23,842	25,585
売上原価	13,891	13,929
売上総利益	9,950	11,656
販売費及び一般管理費	7,272	6,354
営業利益	2,677	5,301
営業外収益	184	255
営業外費用	33	35
経常利益	2,828	5,521
特別損失	110	158
税金等調整前四半期純利益	2,717	5,362
法人税等	1,056	2,043
四半期純利益	1,661	3,318
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,661	3,318

四半期連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位:百万円)

	第54期第2四半期 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)	第53期第2四半期 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,282	4,686
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,815	△408
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,997	△1,906
現金及び現金同等物に係る換算差額	37	18
現金及び現金同等物の増減額	△2,492	2,389
現金及び現金同等物の期首残高	6,759	4,286
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額	-	△533
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,266	6,141

四半期連結包括利益計算書

(単位:百万円)

	第54期第2四半期 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)	第53期第2四半期 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)
四半期純利益	1,661	3,318
その他の包括利益	81	38
四半期包括利益	1,742	3,357

企業の概要 (2022年9月30日現在)

商号	三協フロンティア株式会社
本社所在地	〒277-8539 千葉県柏市新十番二五番地
資本金	15億4,545万円
代表者	代表取締役社長 長妻 貴嗣
設立	1969年12月5日
事業内容	1. ユニットハウスの製造・販売・レンタル 2. トランクルームの製造・販売・レンタル 3. レンタルスペースの運営 4. 立体式駐車装置の製造・販売・レンタル 5. 植物工場の製造・販売・レンタル
役員	代表取締役社長 長妻 貴嗣 取締役 小嶋 俊一 取締役 藤田 剛 取締役 安齋 光晴 取締役 松崎 和秀 取締役 鈴木 洋帆 社外取締役 野倉 学 社外取締役 渡部 秀敏 常勤監査役 村井 康之 社外監査役 山崎 直人 社外監査役 石黒 博 社外監査役 寺嶋 哲生

特定建設業許可 国土交通大臣許可(特-1)第18154号
一級建築士事務所登録 千葉県知事登録1-2205-8844号

株式の状況 (2022年9月30日現在)

会社が発行する株式の総数	30,000,000株
発行済株式の総数	11,678,400株 (うち自己株式565,729株)
1単元の株式の数	100株
株主数	4,061人 (2022年9月末比1,357名増)
大株主	

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
(有)和幸興産	5,616	50.54
長妻 貴嗣	1,658	14.92
長妻 和男	324	2.92
(株)日本カストディ銀行(信託口)	237	2.14
三協フロンティア従業員持株会	158	1.43
STATE STREET BANK AND TRUST CLIENT OMNIBUS ACCOUNT OM02 505002	130	1.17
SUS(株)	122	1.10
三菱UFJ信託銀行(株)	100	0.90
(株)千葉銀行	97	0.88
長妻 幸枝	95	0.86

(注) 1. 当社は自己株式を565,729株保有していますが、上記大株主からは除外しています。
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しています。

株主メモ

事業年度
4月1日～翌年3月31日

定時株主総会
毎年6月

期末配当金受領株主確定日
3月31日

中間配当金受領株主確定日
9月30日

株主名簿管理人・特別口座の口座管理機関
三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒183-0044 東京都府中市日鋼町1-1
電話 0120-232-711 (フリーダイヤル)

公告の方法
電子公告 (URL <https://www.sankyofrontier.com/>)
※ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。

上場証券取引所
東京証券取引所スタンダード市場

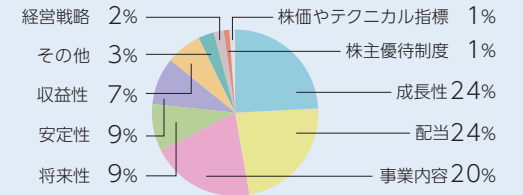
(ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

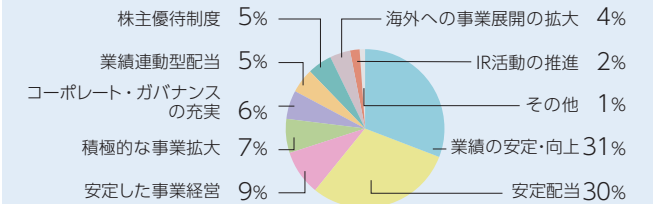
アンケート結果のご報告

「第53期 年次報告書」で実施した株主様アンケートの集計結果をご報告します。256名の株主の皆様からご回答をいただきました。厚く御礼申し上げます。
株主の皆様からいただいたご意見を真摯に受け止め、今後の経営方針やIR活動の参考にまいります。

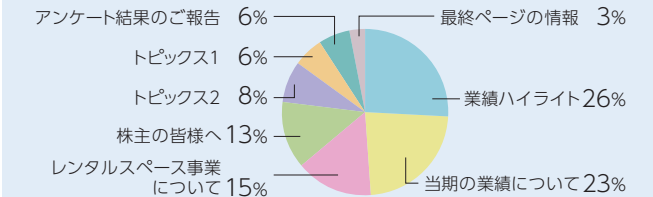
Q1 当社の株式を購入された理由をお聞かせください。 (複数回答)



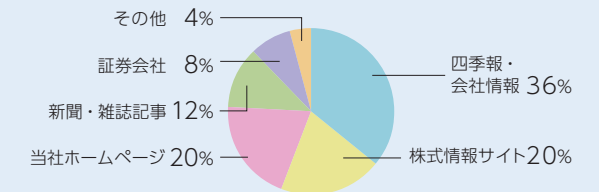
Q2 当社の株式を長期保有する場合は何を重視されるか お聞かせください。(複数回答)



Q3 年次報告書で特に興味を持った内容をお聞かせください。(複数回答)



Q4 当社に関する情報をどこから入手されていますか。



本設3階建て販売開始

「MS LAB」で培った経験を活かし、本年より3階建て本建築物件に対応した製品のご提供を開始いたしました。2022年9月に第1号となる物件をお客様へお引渡ししております。競合先で重量鉄骨造2階建ての提案を受けていたところ、当社の3階建て対応製品をお知りになり、一気に話が進みました。

大部分を自社工場で作るため、3階建てでも建方工事は4日間と圧倒的なスピードで施工できます。スピードというモバイルスペースの強みを活かし、今後も本建築事業の拡大を図ってまいります。



オフィス外観



オフィス内観



当社ホームページのご案内

今後とも、事業報告書やホームページの充実を図り
株主の皆様方へ分かりやすい情報提供を心がけてまいります。

<https://www.sankyofrontier.com/>

三協フロンティア株式会社
本社/〒277-8539 千葉県柏市新十倉二番地 TEL:04-7133-6666 (代)

表紙はMOPAQ水戸(水戸総合展示場)の外観になります。

